

Amazon Web Services (AWS) 向け New Relic

変化し続けるクラウド環境を正確にモニタリングするためのプラットフォーム

Amazon Web Services (AWS) が提供する高機能と柔軟性により、開発チーム、運用チームは様々な作業の効率化、スピードアップに成功しました。しかし、その恩恵を受けるかわりに、現在は運用監視に関する新しい課題に直面しています。

オンプレミス、クラウド環境からコンテナやマイクロサービスまで、様々な事柄が目まぐるしく変化、更新されていくなかで、それら全てに追いつき、対応することは至難の業です。

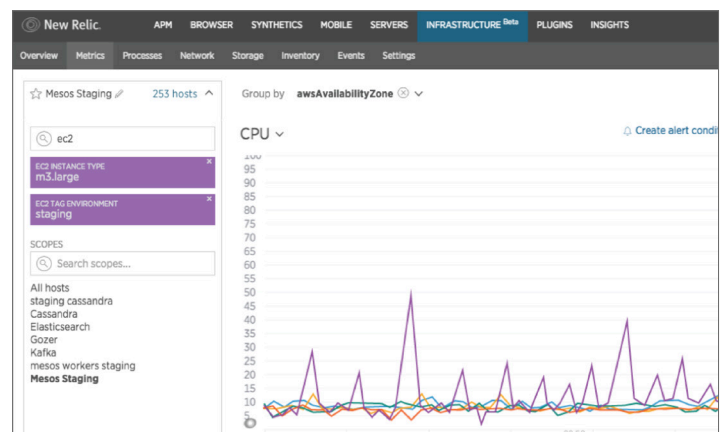
New Relic Infrastructureを活用することで、クラウド環境で生じるあらゆる変更をリアルタイムに可視化でき、システムの規模を問わず最適なパフォーマンスを維持することができます。

主な利点

- 設定変更や Amazon EC2 稼働状態を可視化することで平均検出時間 (MTTD, mean time to detection) と平均復旧時間 (MTTR, mean time to resolution) を低減
- ダイナミックアラートとインフラストラクチャに対応するダッシュボードを用いて設定とメンテナンスを最小限に抑える
- AWS サービスの費用を即座に追跡し、今後の成長を予測
- AWS サービスの費用を即座に追跡し、今後の成長を予測
- Amazon EC2 属性を細分化する能力により効率性を向上
- チームのあらゆる活動を 100% 可視化することで DevOps イニシアチブを支援

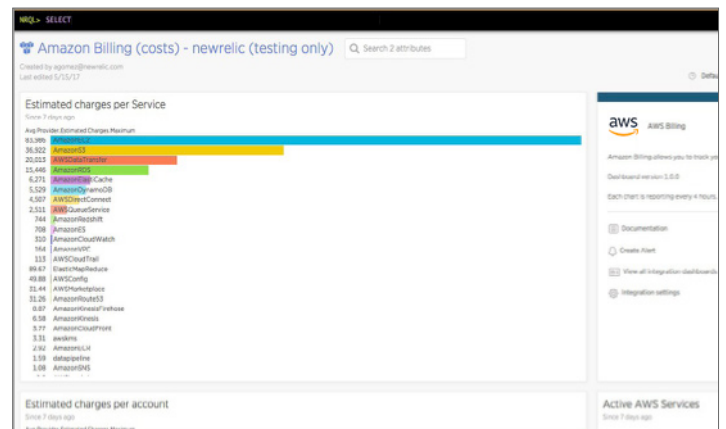
AWS 属性によるホストの細分化

New Relic InfrastructureはAmazon EC2 のホストによって重要度が異なることを考慮して設計されています。役割や階層、アベイラビリティゾーン (AZ)、データセンター、カスタマイズ式の Amazon EC2 タグといった AWS 属性に即してホストを表示します。



AWS サービスコストの追跡と予測

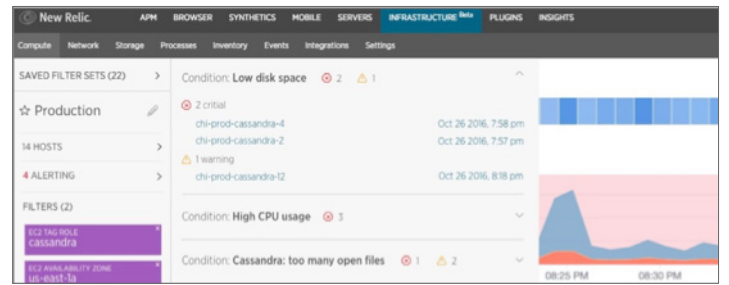
様々な AWS サービスを活用する急成長アプリケーションについて、請求関係の影響度を常に可視化しておきましょう。コスト予測のダッシュボードにより、ボトムラインに影響を与える予算の見積もりをより厳密に準備できます。





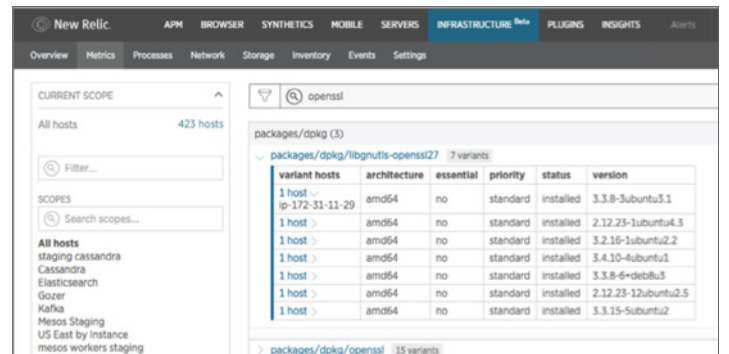
カスタマイズダッシュボードの構築とオートスケールアラートの作成

カスタマイズダッシュボードによりAWSデータを好みの形式で表示できます。また、アラートを作成してインフラストラクチャのパフォーマンスに影響する開発状況を常に把握できます。ダッシュボードならびにアラートはどちらもAmazon EC2の在庫に自動で対応し、Amazon EC2エコシステム全体を常に監視できる点で非常に優れています。



ホスト (Amazon EC2を含む) のリアルタイム表示

Amazon EC2の価値にはインスタンスの数を継続的に自動で調整できる能力もその一つとして挙げられ、手掛けているタスクを常に適切な数で管理できます。しかし、監視のソリューションが最新の一番正確なインスタンスのリストに対応できなければ、あまり意味がありません。そのため、New Relic InfrastructureはAmazon EC2インスタンスのリストを自動で検出して、リアルタイムで正確な情報を表示します。



Amazon EC2等の可視化

Amazon EC2がAWS関連の業務量を最大限賄ってくれるものの、その他数多くのAWSサービスを活用して最新のアプリケーションを動作させていることかと思えます。New Relic Infrastructure Proを使用すれば、頻繁に使用する様々なAWSサービスの状況をリアルタイムで確認できます。以下はそのサービスの一例です。

- Amazon CloudFront
- Amazon ElastiCache
- Amazon Kinesis Firehose
- Amazon ECR
- Amazon DynamoDB
- Elastic Load Balancing
- AWS IAM
- Amazon SQS
- Amazon EBS
- Amazon Kinesis
- Amazon SNS
- Amazon VPC
- Amazon Route 53
- Amazon Elasticsearch Service
- Amazon RDS
- Amazon ECS

AWSサービスのビルトインサポートにより、支出分析、四半期予算レビューや予測の準備、サービスをスケールアップすることの影響評価、使用状況やデータフローの瞬間的な変化調査など、AWS使用状況を表示・把握しやすくなるので、インフラストラクチャやアプリケーション管理を上手く調整できます。

New Relic Infrastructureを体験してみる

New Relic InfrastructureでAWS環境の可視化をお試しください。無料トライアルは<https://newrelic.co.jp/signup>からお申込みいただけます。